

Feng-Shui Gallery

special edition vol.72

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『空間ごとに考える色彩の働き オフィス・店舗編 vol.2』



<2>



<1>



<4>



<3>

【写真1】エステの個室ブース。グリーン色は「健康」をイメージさせる色彩ですので、エステやクリニックなどに適した色彩と言えます。癒しの働きも期待できる色彩の為、リラックスした状態で施術を受けることが可能な空間となっています。【写真2】落ち着いたカラーリングで統一された飲食店空間。照度を抑えて手元やショーケース、壁の一部を効果的にライトアップすることで、雰囲気重視した、非日常の空間演出が可能となります。期待感や満足感など、特別な空間であることに特化するような色彩選定が大切です。【写真3】美容サロンの受付スペース。ベースの色彩に採用されている天井と壁のサーモンピンク色は、ホルモンバランスを整える色彩として、美容関係の空間に適しています。正面の曲線形状の商品棚は、活力を高めるオレンジ色にすることで、訪れる人のエネルギーを高めてくれます。【写真4】赤を基調としたジュエリーショップ。赤い色彩は高揚感を与える働きがあり、ガラスや金属の素材と相まって、高級感を演出する空間となっています。色彩と素材の使い分けによって、空間に重厚感をプラスしています。



【大写真】パステルブルーのアクセント壁が印象的なオフィスの執務スペース。書棚の背後に取り付けた間接照明によって光の濃淡が生じ、気の動きを活性化させています。P型デスク形状も、気の流れを高める働きがあります。

その場に訪れる人の目的によって
用いる色彩は異なる

色彩がもたらす働きによって、空間の色彩選定を行うことが大切

住宅の居室と同じように、オフィスや店舗の各空間においても、それぞれ使用する目的は異なります。オフィスであれば、集中して業務をこなす空間と活発に意見を交わす空間とでは目的が異なる為使用する色彩を変えることで、その場に適した空間をつくることができます。